

平成27年度 神奈川県立上矢部高等学校 不祥事ゼロプログラム実施結果

目標及び行動計画

	取り組み課題	目標 (達成すべき内容)	達成のための行動計画	実施状況
1	個人情報管理・情報セキュリティ	個人情報を適正に管理し、保護に努める。	①個人情報の取り扱いに関するマニュアルに基づき、個人情報保護について全職員の共通理解を図る。 ②文書の保管期間を明確にし、保管期間が終了した文書の廃棄を徹底する。	①個人情報の適切な管理、生徒への適切な連絡方法の徹底や部活動生徒などへの連絡方法について確認した。 ②廃棄確認を徹底し、管理職の確認の下で廃棄を適切に行った。
2	セクハラ・わいせつ行為 【必須事項(全所属)】	人権に配慮した行動の徹底に努める。	①セクハラ・わいせつ行為の事例資料を配付し、不祥事防止の啓発に努める。 ②スクールセクハラに対する研修会を実施する。	①セクハラ・パワハラ防止啓発資料により研修会を行い、セルフチェックを行った。 ②生徒対象セクシャル・ハラスメントに係るアンケート結果を基にした研修を行った。
3	体罰・不適切指導 【必須事項(県立学校)】	体罰・不適切指導の発生を未然に防止する。	①体罰防止・不適切指導に向けた啓発資料を配付し、研修会を実施する。 ②生徒指導に関する事例を共有し、全職員の理解を深める。	①部活動指導ハンドブックにより部活動顧問とインストラクターに対して適切な指導について確認した。 ②生徒理解を深めるための学年会や全体会議を定期的に開催した。 外部講師によるAED研修会を実施し、不測の事故に備えた。
4	経理処理(公費、私費、現金管理)	学校徴収金・団体徴収金・部費等の事故を未然に防止する。	①私費会計の事故防止資料を配付し、事故防止会議(全体会)で全職員の理解を図る。 ②私費及び部費の会計担当者を対象として、会計事故防止研修会を実施する。	①私費会計事務処理の手引きに基づいた適正な支出を行った。 ②財務事務調査結果を共有し、部費、合宿費、学校徴収金の適切な支出に努めた。
5	業務執行体制	業務執行を適正に行い、事故防止に向けた適切な業務執行体制を構築する。	①法令の諸規定に基づき、日常の点検を行って、適切な業務を遂行する。 ②日常的な報告・連絡・相談体制により情報を共有し、協力して業務を行う。 AED使用法講習会を実施する。	①、②県立学校重点課題総点検を実施して、自校の課題を把握し、不祥事発生の未然防止対策にいかした。
6	交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止	酒酔い・酒気帯び運転を防止し、交通事故を未然に防ぐ。	①交通事故のチェックリストを作成し、事故防止会議を通じて交通ルールの遵守と交通安全について確認する。 ②飲酒の身体に及ぼす影響を確認し、自制と注意を喚起する。	①②交通法規の遵守と年末年始における教職員の綱紀保持について個々の認識を高めるためのセルフチェックと管理職の講話を行った。
7	成績処理及び進路関係書類の作成 【必須事項(県立学校)】	成績処理・調査書等に関する事故を未然に防止する。	①定期試験などの作問・採点・成績処理において、複数チェック体制で点検を実施する。 ②調査書・進路関係書類の作成・点検において、適切な業務を行う。	①成績処理業務の確認と一斉点検を適切に行った。 ②文書等の作成から点検、発行まで生徒の進路決定に至る重要な業務であることの認識をもって業務を遂行した。
8	入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	①入学者選抜業務について適切なマニュアルを作成し、チェックリストに基づいた点検を行う。 ②選考基準及び選考方法について研修会を実施し、事故防止に向けて職員間の共通理解を図る。	①、②業務に係る説明会や研修会を複数回実施し、マニュアルに則った適切な業務遂行に努めた。 入学者選抜に係る再点検を行った。
9	公務外非行の防止 【必須事項(全所属)】	公務員としての自覚を持ち、政治的中立を厳守し、法令遵守の行動をとる。	①公務外非行の具体的な事例を教材として、研修を実施する。 ②公務員としての自覚を高めるような様々な機会を捉え注意を喚起する。	①、②、関係法規の遵守や公務員の職務について、校長の講話により教職員の順法意識を高めた。
10	管理職による個別面談	教職員の事故防止に対する意識を高めるとともに、日常業務の再点検を行う。	①チェックリストの記入と事故防止への提案聴取。 ②校長、副校長による個別面談。	①20項目のチェックリスト記入で個々の振り返りと課題整理を行い、②管理職面談時の意見聴取の結果を円滑な業務遂行に生かした。